



ヘルクレス座 1991年新星の菅野氏による発見時の写真(左下の輝星は ζ Aps)

$$\alpha = 18^{\text{h}}44^{\text{m}}11^{\text{s}}.83, \quad \delta = +12^{\circ}10'45''.0 \quad (1950.0)$$

さらに何人かの人の位置観測があるが、ここでは省略しておく。マックノートによると、パロマー写真星図の上記の位置近くには青色の星は見当たらないが、しかし、その近くには約 19 等、約 14 等、約 16 等の星がある、と報告している (IAUC 5222, 5223 等)。尚、筆者のノートによると日本人として 36 個目の新星 (超新星を含む) 発見である。 (香西洋樹)

お知らせ

東北大学理学部天文学教室教官公募結果

天文月報第 83 巻 3 月号 (1990) に掲載された当教室の助教授あるいは助手 1 名 (天文学・観測) の公募については、下記のとおり決定しましたので報告致します。

氏名 谷口義明

現在の所属・職 東京大学理学部

天文学教育研究センター・助手

着任時期 1991年4月1日

東北大学理学部天文学教室

主任 竹内 峯

学会だより

日本学術会議第 15 期会員候補者の決定

日本学術会議に登録した会員 (特別会員) を対象に選出しました標記会員候補者の開票は、去る 1 月 17 日に行いました。

この結果を踏まえて当学会・評議員会は 1 月 19 日に次の両氏を候補者に決定しました。

杉本大一郎氏、磯部瑠三氏

この結果は、1 月 30 日に日本学術会議に届出ました。

そして日本学術会議推薦管理会から上記両氏の資格認定通知が 3 月 15 日付で日本天文学会に連絡されております。

以上、日本天文学会の内規に従いまして順調に手続きが終了しましたことを会員の皆様にご報告 (日本学術会議会員候補者推薦内規第 10 条) するとともに御協力を感謝致します。

国際学術交流基金による海外学術交流活動の援助

昨年度、小暮智一記念事業会より本会に寄附のありました 100 万円について、同事業会の意向に添って、国際学術交流基金として、若手研究者の海外学術交流のために使用することになりました。つきましては、下記要領で、この基金による援助希望者を募集致します。

- 募集期間: 1991年4月10日 ~ 1991年6月10日 (当日消印有効)
- 対象者: 大学院学生 (学振など各種研究員も含む)、又は最近助手になったばかりの若い研究者
- 援助の条件: 1991年12月末日までに、各種国際研究集会、又は観測等で、海外に出かける予定の人で、この基金以外の財政的援助を全体費用の 50% 以内しか受けていない (又は受けられない見込) の人。
- 採用人数および援助額: 1人 15~20 万円以内 (全体費用の 50% を限度) で、5~6 人 (ただし応募者多数の場合はこの限りではありません)
- その他: 応募にあたっては、氏名、所属、学年又は年齢、学生の方は指導教官名その他、次の資料を添えて下さい。
 - ①参加する研究集会 (又は観測計画) の内容の概略 (例、IAU Symp. ○○, タイトル, 期間, 開催地, 内容の概略) を記したものを、
 - ②これまでに得られている (又は得られる予定の) 資金援助の内容を示すもの
 - ③その他、もしあれば、招待状等、援助の必要を示す資料。
 なお、応募者多数の場合には、選考が行われる場合があります。
- 応募先: 〒181 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会 国際学術交流基金募集係
- 問い合わせ先: この件についての質問は、吉澤庶務理事 (国立天文台 Tel. 0422-41-3786)、又は学会事務所 (Tel. 0422-41-3648) に問い合わせして下さい。